

2024年11月10日 主日礼拝

司会 ①坪井師 ②熊谷兄 ③平田兄(加藤姉)
祈祷 奏楽

賛美 讚美歌312番「いつくしみ深き」
(日の昇る所から)(主の名を賛美しよう)

主の祈り

聖書 ① ヨハネによる福音書20章19～29節(P176)
② ルカによる福音書24章25～32節(P133)
③ ヨハネによる福音書5章1～9節(P142)

音楽 ②③ プレミアムクワイア&バンド(①V)

メッセージ ① 「3つの平安と慰め」(V・58才) 大川従道主任牧師
② 「不思議と心が燃えた」 小林詩音副牧師
③ 「ピンチはチャンス！」 大川従道主任牧師

賛美 栄誉 ①「驚くばかりの」(聖歌229番) 献金
頌栄 ②「それ神は」(聖歌700番) アーメン
祝 禱

「死んだ人たちが、神の子の声を聞く時が来る。聞く人は生きるのである。」(ヨハネ五の二十五)

【大和ニュース】

☆本日、「秋のバザー」。第3礼拝後、シャローム館・テラス・泉ロビー。楽しいひととき！

・ 本日、青年会、学生会、ヤンチャ(中高生)集合！ ・バザー後のバスは13:10/13:30。

* 第4礼拝(18:00)説教は熊谷茂補教師「道は開ける」。泉チャペルにて。

・ 今週の祈禱会も大切に！水夜と木朝。説教は佐々木副牧師。お証詞に植田兄(V)。

・ 大川牧師は金曜日に上智大学でルカ・レンゾ神父と対談。来年2月5日の準備。

・ 土曜日は花盛り。会堂掃除(12:00)、聖歌隊(13:30)。(・ヌイヌイは木曜)

* 主日礼拝人数 ①68人(204) ②218人(133) ③265人(213) ④25人=1126人

定例祈禱会 水曜66人(135) 木曜129人(54)=384人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

先週のこと、11月6日に「私の救われた日」としてカードや受洗のお祝いをして下さったり、お心遣いを感謝いたします。

正確なことを申し上げますと、受洗日は13才の12月25日。11月6日は私が自分の罪を悔い改め、救いを確信した日でございます。その日は日曜日、大人の礼拝の前に、中学生会があり、それを指導していたのが、私の3才上の兄(今、アメリカで牧師をしている)。その16才の兄のメッセージで心砕かれ、涙と共に罪を悔い改め、イエス様を自分の主として心の中心にお迎えいたしました。その救いの確信は、明確な生まれ変わりで、ポーン・アゲイン、クリスチャンになった日です。あまりにも喜びが大きくて、この喜びを伝えるために献身をしました。後日、明確な伝道者としてのご召命をいただきましたが、その日の決心は、志願兵のようなものでした。

あれから70年もたつ。1度もその決心はゆるぐことなく、超真面目に、この献身の道を歩み続けて参りました。ありがたくって、涙がこぼれます。

これからも全力で主のご命令に従い、その聖務を全うしたいと願っております。どうぞこの使命達成のため、お祈りくださると幸いです。

「目はかすまず、気力は衰えず」モーセのように生かしていただきたいです。



教会の歴史の中には、神に普通ではない方法で寵愛を受けた人たちの記録があふれている。私たちはみな、自分のお気に入りの人たちがいる。特に私たちの育ちや、生きてきた背景によって、いろいろな理由で尊敬する人たちがいる。

これらの信仰の勇者たちは、私たちが願い求めるような領域まで神に近づいた人たちだ。これらは、ビル・ジョンソン著『神の臨在をもてなす』からの引用である。「神のお気に入り」の主題に関して、私が最も憧れる人物の一人にキャサリン・クールマンがいる。多くの理由により彼女を尊敬している。その聖会に現れた奇跡の数々もその理由の一つだ。彼女は偉大な聖書学者、説教者、美人というわけではない。歌手でもない。彼女は、神が共にいたいと願う人であった。彼女は、主の臨在を運ぶ女性であった。改めて、「神への従順と油注ぎ」を学びたい。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:ヘブル7章~11章 Bコース:哀歌1章~エゼキエル15章